

令和4年度 大阪府立吹田高等学校 学校教育自己診断 (生徒・保護者)

集計結果の分析と
今後の取り組み



【はじめに】

今年度も、生徒並びに保護者の皆様のご意見を反映し、より良い学校運営に資するため、「学校教育自己診断」を実施いたしました。お忙しい中にも関わりませず、多くの保護者の皆様からご回答をいただきました。

その集計結果と今後の取り組みについてまとめましたので、お届けいたします。

【資料の見方】

吹田高校では、他の大阪府立の高等学校と同じく年度当初に「学校経営計画」を策定し、その実現に向けて、教職員が力を合わせ、学校教育に取り組んでいます。

そこで、今年度の学校教育自己診断の結果等につきましても、質問毎に「学校経営計画」との対応がわかるように整理しました。

*「学校経営計画」は本校のホームページ（以降、HPと記します）に掲載しておりますので、あわせてご覧ください

本資料の見方は、以下の通りです。

「学校経営計画」の今年度の重点目標に含まれるかまたは近いテーマ

- その項目に関わる質問 と アンケート集計結果 及び
対応する「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所
- アンケート結果に対する学校の受け止め方（分析）
- 来年度以降の指導の方向性（対応）

I 遅刻・頭髪・登下校時のマナー指導

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
1	あなたは、毎朝遅刻をしないように意識をしていますか。 全学年 肯定的回答率平均 93.9%	1年	69.15%	23.94%	5.32%	1.60%	93.09%
		2年	75.7%	18.6%	3.6%	1.4%	94.3%
		3年	79.0%	15.5%	3.3%	2.2%	94.5%
2	あなたは登下校時に、交通ルール・マナーを守るように努めていますか。 全学年 肯定的回答率平均 97.5%	1年	75.0%	23.9%	0.0%	1.1%	98.9%
		2年	72.9%	25.0%	0.0%	0.0%	97.9%
		3年	81.2%	14.4%	3.9%	0.6%	95.6%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問2 → I(1)エ

■【学校の受け止め方（分析）】

質問1、2ともに、肯定的回答率が90%を大きく上回っています。生徒一人ひとりが「ルールを守る」ことを意識しながら日々前向きに学校生活を送ろうとしていることが伺えます。

その一方で、遅刻数は昨年より増加し、遅刻指導の対象となる生徒は毎月とても多くいます。登下校時も、近隣住民の方の迷惑になっていたり、事故を起こして怪我をしたりしてしまうケースが少なくありません。

「ルールを守る」ことはもちろん大切ですが、「何のためのルールなのか」を理解することができれば、今まで以上に規範意識を持つことができ、上記の指導は少なくなっていくと思います。遅刻指導は「近い将来社会に出たときに、時間を守り人から信頼されるためのルール」です。通学安全指導は「自分や周りの人の命を守るためのルール」です。学校の指導を通して、生徒の基本的な生活習慣の確立を促していきたいと思います。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

遅刻指導については、今年度より導入した早朝登校指導を次年度も継続します。また、日々の遅刻指導が今年度はありませんでした。次年度に向けて検討し、それらの指導を通して学校全体で遅刻を減らしていきます。

通学安全指導については、今年度実施した講習や巡回指導の他に、警察や外部講師の講演、スケアードストレート等の実演を取り入れることができないか、検討しています。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
1	学校の遅刻指導（早朝登校と反省文）について理解できる。（通院などの特別な場合を除く）	47.9%	42.6%	5.3%	4.3%	90.4%
2	学校の頭髪指導について理解できる。	47.9%	35.1%	14.9%	2.1%	83.0%
3	学校の携帯電話指導について理解できる。（授業中の携帯電話使用やSNSによる不適切投稿など）	64.9%	28.7%	5.3%	1.1%	93.6%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】

質問1～3の指導について、肯定的な回答を多くいただき、保護者の皆様が本校の指導にご理解をいただけていることが伺えます。

アンケートの結果を受け、これらの指導を継続的に展開するとともに、より一層多くの保護者の皆様にご理解いただけるよう、より良い指導方法を模索してまいります。また、指導の経過や経緯についてもこれまで以上に丁寧にご連絡、ご報告することを心掛けていきたいと感じています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

遅刻や違反行為については、規範意識がしっかりと定着するまで、現在の指導を継続すること、より良い指導法を考えていくことが必要だと思っています。また、指導に際しては、「ペナルティを科す」ことを目的とせず、「なぜ指導を受けているのか」を該当生徒にしっかりと納得させること、安易な指導にならないことが不可欠だと認識しています。

生徒自らが自分を律し、また、自分の成長を考えて、時間を守りルールを守るという当たり前のことができるように、今後も丁寧な指導を続けていきたいと考えています。引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

2 学校行事・部活動のさらなる充実・活性化

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
3	あなたは遠足、体育祭、文化祭などの学校行事に自主的・積極的に参加していますか。 全学年 肯定的回答率平均 89.1%	1年	67.0%	26.6%	5.3%	1.1%	93.6%
		2年	52.1%	34.3%	7.9%	3.6%	86.4%
		3年	66.3%	21.0%	9.9%	1.7%	87.3%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問3 → 1(2)ア

■【学校の受け止め方（分析）】

全学年での肯定的な回答が今年度は89.1%となり昨年度の77.6%から大きく上昇しました。直近5年間でも一番良い結果となり、依然コロナ禍ではあり制限のかかった行事ではありましたが、生徒が前向きに取り組んでくれたことをうれしく思います。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

生徒たちが行事を通じて「達成感」を得て、それが自分自身の成長につながるような行事を生徒会部が中心となり学校全体で取り組んでいきたいと思ひ、生徒会執行部をもっと行事に参加させるような体制も執行部と一緒に考えていきたいと思ひます。

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
4	学校の部活動は活発だと思いますか。 全学年 肯定的回答率平均 71.8%	1年	35.1%	38.3%	15.4%	9.6%	73.4%
		2年	20.0%	48.6%	20.0%	7.9%	68.6%
		3年	35.4%	38.1%	15.5%	11.0%	73.5%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 質問4 → 1(2)イ

■【学校の受け止め方（分析）】

「部活動が活発かどうか」という質問に対しての生徒の判断基準は、活発なクラブの様子を、【見たり・聞いたり・感じたり】しているかどうかです。自身が所属するクラブ活動に一定の満足感を得ている場合は、その活発な活動を【見たり・聞いたり・感じたり】しているの、「活発である」と捉え、クラブに加入していない生徒であっても、クラブに加入している友人やクラスメイトの精力的な活動を【見たり・聞いたり・感じたり】していれば、「活発である」と答えると思います。

「活発でない」と答える生徒の多くは、そもそも本校の部活動に興味・関心がなかったり、精力的に部活動に励んでいる友人が身近にはいなかったりするので、クラブ活動の様子がわからないことが原因だと思われます。

いずれにせよ、「本校の部活動をより活発にさせるためには」という根本的な議論も当然必要ですが、同時に、現在、活発に活動しているクラブの様子を、多くの生徒に知ってもらうような取り組みも重要であると考えます。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

クラブ部員の活動の様子を、他の多くの生徒に知ってもらうための手段として、始業式・終業式での表彰や、ホームページ上でのクラブのブログ・SNSの活用などの活性化を今以上に行い、また生徒会執行部やクラブ員、部顧問で壁新聞や試合予定・結果の掲示を行うことも有効であり、他のクラブで頑張っている生徒の活動に関心をもてるような機会を、生徒に提供できるような取り組みを推進していきたいと思います。

そして、部活動における一番の問題は部顧問問題です。状況によっては部のスクラップも視野に入れ、一つのクラブにかかる教員を増やし、負担を分散させることも考えていかなければなりません。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
8	学校の体育祭、文化祭に子どもは自ら進んで取り組んでいる。	54.8%	36.6%	7.5%	1.1%	91.4%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】

質問項目に関する保護者の方々の回答の肯定率は、子どもたちも学校生活への満足度と相関関係にあると考えられます。今年度は91.4%と高い肯定率をいただいています。

今年度も新型コロナウイルス感染症への感染対策を十分に行った上で、体育祭を6月に、文化祭を制限付きの午前中のみとして開催しました。高い数値を残せたのは、生徒たちが自ら楽しもうと努力する姿が上級生を中心に見られたことや、教職員が行事に一定の理解を示し、開催にあたって総動員で協力できたことが大きな要因であると捉えています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

前述したように保護者の方々の行事への意識は「子どもが学校行事を肯定的にとらえているかどうか」という点に大きく影響があると考えています。

学校として一番注力すべきは「生徒にとって有意義な学校行事の運営」であり、社会情勢に即した安全な行事運営が求められる中、本当の意味で生徒が望む形での行事の実施を念頭に、生徒たちの「自主性」をはぐくむことができる学校行事を今後とも引き続き検討していかなければなりません。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
9	学校の部活動は活発である。	30.4%	38.0%	26.1%	5.4%	68.5%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問9 → 1(2)イ

■【学校の受け止め方（分析）】

肯定的な回答が今年度は68.5%となり、直近5年間で一番低い肯定率です。保護者の肯定率はクラブへの加入率の減少も大きく影響していると考えられますが、やはり本校の部活動を生徒、保護者に発信する機会をもっと増やさなければなりません。

部活動を前向きに捉えていない生徒に対して、部活動の良さをどのようにアピールできるのか、そして、一度入部した生徒を卒業まで続けさせるにはどうしたらよいか、具体的なアイデアを教職員だけでなく、部員と共に考えていくべきであると思います。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

多くの生徒が「入りたいな」と思える部活動づくりと、部活動の良さを継続的にアピールしていくことが大切です。

本校入学から各引退時期まで、フォローできる体制を整えることと、4月の仮入部期間や個別の部活動勧誘だけでなく、年間を通して定期的に部活動参加への呼びかけを継続して行います。部活動の情報発信についても、メルマガやホームページ、クラブのブログ等をより一層活用しながら、保護者の皆様にも部活動の様子をお伝えしていきたいと思えます。

3 教育相談・支援教育の充実

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
5	学校に悩みを相談できる場があると感じていますか。（先生や部屋）	1年	31.9%	37.2%	21.3%	9.0%	69.1%
		2年	25.7%	46.4%	18.6%	7.9%	72.1%
		3年	35.9%	38.1%	18.2%	7.2%	74.0%
全学年 肯定的回答率平均 71.8%							

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
4	生徒が保健室や生徒相談室などで気軽に教員に悩みを相談できる。	24.4%	57.8%	15.6%	2.2%	82.2%
5	子どもの心身の健康について相談したいことがある場合、気軽に教員に相談できる。	26.7%	42.2%	24.4%	6.7%	68.9%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

生徒質問5、保護者質問4、5 → 3 ア

■【学校の受け止め方（分析）】

「教育相談・支援教育の充実」について、71.8%の生徒、75.5%（質問4、5の平均）の保護者が肯定的に回答しています。

教育相談・支援教育については担任や保健室を中心として、生徒が気軽に相談できる体制を築いてきました。昨年度に引き続き、感染症拡大防止対策のため「みかんルーム（教育相談室）」の開放はできませんでしたが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが定期的に来校し、個別相談やケース会議を継続して実施しています。また、薬物乱用防止教室、デートDV予防啓発出前授業、思春期講座、他者理解のための講演会、健康教育セミナーなど、心身の健康の充実について意識を高める教育活動を行ってきました。講師として来校いただいた先生にも個別相談の時間を持っていただいています。生徒が心身の健康に関心を持ち、また解決の手段を持つことにつなげていけるようより一層努めてまいります。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

これまで同様、生徒たち一人ひとりの悩みや想いを真摯に受け止め、それぞれのケースに応じたきめ細かな対応を心がけるとともに、様々な課題を持つ生徒の早期発見に努め、生徒自らが自己実現に向けて行動していけるよう支援していきたいと考えています。本校の支援体制、支援に対する教職員の意識は高く、安心して相談してもらえる状況です。多様な課題のある生徒にしっかりと寄り添えるよう職員研修や個別相談等の機会を持ち、関係機関並びに保護者の皆様との連携を深めながら、教育相談、支援教育の充実に努めます。今後も引き続き、お子様に関わっての悩み、お気づきのことなど、お気軽に学校にご相談いただきますようお願いいたします。

4 互いを認め合える集団づくり

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
6	学校では人権に関して学ぶ機会があると思いますか。（男女平等や性差別、障がい・障がい者に対する正しい理解など）	1年	49.5%	41.5%	8.5%	0.5%	91.0%
		2年	44.3%	45.0%	6.4%	2.9%	89.3%
		3年	48.1%	38.1%	9.9%	3.3%	86.2%
	全学年 肯定的回答率平均 88.8%						
7	学校は「いじめ」や「暴力」などいろいろな問題を見逃さず対応していると思いますか。	1年	34.6%	45.7%	16.0%	3.7%	80.3%
		2年	30.7%	46.4%	17.9%	2.9%	77.1%
		3年	39.8%	43.1%	12.7%	3.9%	82.9%
	全学年 肯定的回答率平均 80.1%						

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問7 → 1(2)ウ

■【学校の受け止め方（分析）】

項目6に対する肯定的回答は、1年生91.0%、2年生89.3%、3年生86.2%で、平均すると88.8%で昨年度の80.3%を大きく上回る結果となりました。多くの生徒が人権HRを実施する意図やその内容を、十分に理解してくれていると考えられます。

項目7に対する肯定的回答は、1年生80.3%、2年生77.1%、3年生82.9%であり、平均すると80.1%でこちらも昨年度の78.5%をわずかですが超える結果となりました。本校独自のアンケートによる実態把握や、その後の担任を中心とした丁寧な聞き取りに対して、一定の信頼は得られていると

考えています。しかし、こちらの項目で特に1, 2年生で2割程度の生徒が否定的な回答をしており、生徒が安心して学校生活を送りたいという気持ちをサポートしていく体制づくりをさらに進めていく必要があると考えています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

人権HRの更なる充実をはかると同時に、その目的をはっきりさせること、また高校3年間を通して生徒の成長過程に応じた系統立てたHRを計画し、生徒の成長とともにステップアップできる学習体制を構築する必要があると考えています。

また、全ての生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、アンケート結果をより効果的に活用していくとともに、日頃の生徒の様子を注意深く見守り、トラブルを見逃すことなく生徒一人一人が安心して過ごせる環境作りに努めたいと考えています。

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
9	あなたは授業やLHR、講演会などの機会を通して、情報モラル等を身につけることができますか。 全学年 肯定的回答率平均 92.7%	1年	39.9%	51.6%	6.9%	1.1%	91.5%
		2年	42.1%	50.0%	5.7%	0.0%	92.1%
		3年	51.4%	43.1%	3.3%	1.1%	94.5%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問9 → 1(1)カ

■【学校の受け止め方（分析）】

アンケート結果は全体の肯定率 92.7%と昨年度より 10%上昇しました。特に3年生では 94.5%の肯定率であり1年次の学年全体でのスマホ・ケータイ安全教室、2年次の社会と情報での授業、3年次は進路指導と情報という観点からの学習という継続的、段階的な学習が着実に生徒の情報モラルへの意識を高めることにつながっていると思います。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

来年度も今年度の形をほぼ踏襲し、特に1年生の早い段階で、スマホ・ケータイの安全使用の学習を通じて情報モラルへの意識を持たせることは必要であると考えています。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
7	学校では、すべての生徒の尊厳が守られ、基本的人権が尊重されるように、人権学習、いじめの実態を把握を行っている。	18.4%	58.6%	19.5%	3.4%	77.0%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】

肯定的回答が 77.0%であり、昨年度の 79.55 より低下する結果となりました。また、否定的回答も2割を上回っています。生徒の項目6, 7の回答の肯定率が 80%を超えていたことと比べるとかなり低く、生徒の学校内での人間関係の実態把握など今までより更に迅速かつ丁寧に行わなければいけないという、保護者の皆様からの切実なご意見だと真摯に受け止めています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

全ての生徒が安心して学校生活を送っていただけるよう、今後も府教委のアンケート「安全で安心な学校生活を過すために」に加えて、本校独自のアンケートを実施し、生徒の様子を注意深く見守りながら、いじめの防止及び兆候の早期発見と対応等、丁寧かつ迅速な対応に努めてまいります。

また、年間HR計画に位置づけて人権HRを全学年で計画的に実施し、生徒の発達段階に応じて、人権についての正しい知識と理解の育成に努め、さらに HR の様子を学年団や広報等で広く発信し、本校の人権教育を生徒ならびに保護者の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。

5 安全管理の徹底、校内美化の推進と外部機関との連携

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
8	あなたは日頃、学校で清掃するなど、校内美化に努めていますか。 全学年 肯定的回答率平均 75.7%	1年	29.8%	42.0%	22.9%	5.3%	71.8%
		2年	23.6%	50.0%	22.1%	2.9%	73.6%
		3年	39.2%	42.5%	12.7%	5.0%	81.8%

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
6	校内は、清掃が行き届いている。	14.4%	47.8%	32.2%	5.6%	62.2%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

生徒質問8、保護者質問6 → 3 イ

■【学校の受け止め方（分析）】

「校内美化の推進」について、生徒の 75.7%、保護者の 62.2%が肯定的に回答しています。創立72年目を迎え、校舎設備の老朽化や水道が少ないなどの不便もあります。そういう中で、通常清掃、清掃徹底週間、施設設備の安全点検、生徒保健委員による学校環境美化啓発活動（清掃点検、ポスター掲示など）を継続して行ってきました。安全点検で所見があった箇所については、速やかに対応しています。これらの取組みを通して、学校施設設備環境に一定の改善はあったものと考えています。今年度は一部トイレが洋式化し、自動水栓が設置されました。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

校舎設備老朽化の改善については、府教育庁に引き続き計画的な整備を要望していきます。

生徒・教職員の一人ひとりが「自分の学校・母校」という気持ちで清掃に取り組むことで、「古いけれど、手入れの行き届いた清潔な学校」につながると考えています。自らの学習環境を清潔に保つことは、将来の社会生活を行う上でも大切です。今後も様々な活動を工夫して美化意識の定着に向けて、継続して指導していきたいと考えています。

清掃の行き届いた環境で学校生活を送る喜びを生徒が感じられるよう、粘り強く取り組んでまいります。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

6 授業規範の確立と授業マナーの向上

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
10	先生は、生徒の授業中の私語や勝手な行動を見逃さずに注意していると思いますか。 全学年 肯定的回答率平均 83.1%	1年	36.2%	47.3%	11.2%	5.3%	83.5%
		2年	40.0%	42.9%	14.3%	1.4%	82.9%
		3年	45.9%	37.0%	12.2%	5.0%	82.9%
11	あなたは、授業中に私語や勝手な行動をすることなく集中して学習していますか。 全学年 肯定的回答率平均 92.6%	1年	47.3%	46.8%	4.8%	1.1%	94.1%
		2年	47.9%	43.6%	5.7%	1.4%	91.4%
		3年	62.4%	29.8%	4.4%	2.2%	92.3%
12	学校のカリキュラム（授業科目の配置等）は、進路希望に応じて、コースや選択科目が選べるように配慮されていると思いますか。 全学年 肯定的回答率平均 94.6%	1年	63.3%	34.0%	2.1%	0.5%	97.3%
		2年	52.1%	42.1%	2.1%	1.4%	94.3%
		3年	54.1%	38.1%	5.5%	1.1%	92.3%

■保護者へのアンケート

質問	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
10 学校の教員は授業改善に取り組んでいる。	31.8%	47.7%	17.0%	3.4%	79.5%
11 子どもは学校の授業内容に満足している。（わかる、興味が持てる）	25.0%	48.9%	21.7%	4.3%	73.9%
12 学校のカリキュラム（授業科目の配置等）は、子どもの進路希望に応じたコースや選択科目が選べるようになっている。	33.3%	49.5%	14.0%	3.2%	82.8%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

生徒質問10、11、12 → 2(2)ア

生徒質問11 → 1(1)オ

■【学校の受け止め方（分析）】

8割程度の生徒が「先生は生徒の授業中の私語や勝手な行動を見逃さずにきっちりと注意していると思います」と捉えてくれていますが、一方で、全学年を通じて2割ほどの生徒が「授業中に生徒への注意をしていない」と否定的な回答をしています。高校生活の基本は授業であり、どの学年・どの授業であっても授業規律が保たれている状態が望ましく、生徒の皆さんの意見は重く受け止めています。

また、約1/4の保護者の皆様がお子さんは吹田高校の授業に満足していないと感じられていることが分かります。

一般的に、高校での授業はただ単純に楽しいだけのものではなく、充実感や達成感を得るためには生徒自身の努力が必要ですが、生徒に一定の学力をつけることは学校として当然の責務であり、中でも授業は学校の根幹をなすものです。

そのため、教員の授業力の向上に向けては、質問10にあるような取り組みを実施し、精力的に授業改善に努めています。

しかしながら、少なくない皆さんから否定的な回答をいただいたことは、あらためて学校として真摯に受け止め、授業に興味をもたせる一層の工夫や、学習に対して不安がある生徒に対するさらなるケアが必要だと認識しており、早急に改善を図りたいと思います。

教育課程に関しては、どの学年においても9割以上の生徒がカリキュラムに満足していると捉えることができます。また、保護者の皆様におかれましても8割強の方がカリキュラムに満足していると回答していただいております。一方で、カリキュラムと進路希望が結びついていないというご意見も少なからずございます。これらのご意見を真摯に受け止め、より良い教育課程を作り上げていくように尽力いたします。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

生徒の皆さんに一定の学力をつけることは学校として当然の責務であり、中でも授業は学校の根幹をなすものです。

今回の結果を踏まえ、すべての教員が自らの授業技術を磨く必要性をさらに強く自覚し、1つ1つ丁寧に取り組むことで総合的な授業力の向上に努めてまいります。また、科目や教科単位で年間の到達目標や評価規準を明確にし、生徒がめざす資質・能力を示すことで、計画的に授業を実施していく所存です。

一方で、授業はまさに教員と生徒の共同作業であり、お互いが求められる役割と責任を果たすことで初めて「よい授業、興味が持て、分かる授業」が成立します。

授業規律の確立について、生徒の皆さんに自身の行動を見直すこと、必要な予習や復習をすることなどを、学校としても強く求めていきたいと考えています。

保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、生徒が、学ぶこと、新たな知識を得ることの楽しさと大切さに気づくことができる授業やカリキュラム作成に、引き続き学校をあげて取り組んでいきたいと思っております。

7 三年間を見据えた系統的な進路指導

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
13	学校が提供している進路に関する情報や進路HRは、あなたが将来の進路を考えるうえで役立っていると思いますか。	1年	49.5%	43.1%	5.9%	1.6%	92.6%
		2年	38.6%	49.3%	8.6%	2.1%	87.9%
		3年	54.1%	32.6%	8.8%	3.3%	86.7%
全学年 肯定的回答率平均 89.1%							

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
13	学校では、子どもの進路実現に役立つ情報提供が適切に行われている。	37.0%	47.8%	12.0%	3.3%	84.8%
14	学校では、子どもの学力向上のための講習・補習などが適切に行われている。	27.8%	50.0%	18.9%	3.3%	77.8%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

生徒質問13 → 1(3)ア、2(1)ウ

保護者質問13 → 2(1)ア

■【学校の受け止め方（分析）】

生徒の肯定的回答は昨年とほぼ同様の結果となっており、充実した進路移動を実施することができたと考えております。一方で、割強の生徒には否定的な回答となっていることから、さらなるニーズへの対応も必要です。

保護者の肯定的回答は二つの質問ともに昨年度よりも高まっており、これは保護者対象の進路説明会の対面実施や、懇談会時における進路資料提供・配布等が評価されたのではないかと考えています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

今後も生徒・保護者への情報提供や進路に関するサポートを維持していきたいと考えております。GoogleClassroom やデジタル資料の活用とあわせて、進路指導室における対面相談や進路指導部主催の各種行事・取り組みなどで、あらゆるニーズこたえる進路指導を実施してまいります。

8 その他

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
14	先生は自分たちのために一生懸命に指導してくれていると思いますか。 全学年 肯定的回答率平均 92.1%	1年	53.7%	40.4%	3.7%	2.1%	94.1%
		2年	45.7%	45.7%	6.4%	0.7%	91.4%
		3年	58.0%	32.6%	5.5%	3.3%	90.6%

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
15	学校の教職員は子どものために、一生懸命に指導をしている。	40.4%	46.8%	10.6%	2.1%	87.2%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】

教職員の指導に対して、生徒9割以上、保護者も9割に近い肯定的な回答をいただいておりますが、一方では割合的には少ないかもしれませんが、本校教職員の指導に対して理解が得られていない生徒・保護者がいることも重く受け止めなければいけません。生徒・保護者に十分に理解を得られるように、教職員が生徒個々の特性をより深く理解し、人格のより良い発達をめざした適切な指導・援助に対して下記の2点について改善を検討する必要があります。

① 日常的な指導において、全教職員の共通理解のもと、生徒と教職員の相互信頼という基盤を築きながら、校内のルールやマナー、基本的な生活態度（時間・服装・挨拶・言葉遣い）を全教員で粘り強い指導をめざすこと。

② 生徒個々の特性を生かしながら、協働の集団や社会の構成員として適した資質や態度・能力の発達を図り、学校だけでなく様々な生活の中で強く正しく生きる態度や能力の発達を助成するため、具体的場面に即した指導をめざすこと。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

社会の移り変わりに伴い、教育課題もますます多様化・複雑化していく中で、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを見守り、道徳的な心情を育て、判断力・実践意欲を持たせるなど、道徳性を養うことが不可欠となっています。

今後とも、保護者・地域の皆様からのご意見やご要望をさらに真摯に受け止め、教職員が一丸となって教育活動に専心してまいります。お子様への指導に疑問やご質問がございましたら、小さなことでも結構ですので、お気軽に頂ければ幸いです。

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
15	あなたは学校からの連絡を保護者にきちんと伝えていますか。 全学年 肯定的回答率平均 86.9%	1年	50.5%	33.0%	13.8%	2.1%	83.5%
		2年	43.6%	43.6%	9.3%	2.1%	87.1%
		3年	58.6%	31.5%	8.3%	1.7%	90.1%

■保護者へのアンケート

質問	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
16 子どもと家で学校での出来事などについて話をする。	50.0%	29.8%	16.0%	4.3%	79.8%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】

学校からの連絡については、メルマガに掲載していますが、やはりご家庭での対話の時間も大切であると考えています。大事な場面では保護者への連絡や承認が必要となりますので、お忙しい中とは存じますが、日ごろからの声かけをしていただきますようお願いいたします。

■保護者へのアンケート

質問	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
17 個人懇談、進路説明会などに積極的に参加している。	34.0%	34.0%	22.3%	9.6%	68.1%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】

できるだけ多くの保護者の方に学校に来ていただけるよう、状況に応じた判断をしてきました。まだまだ学校へ来ていただける機会は少ないですが、開かれた学校となるよう、今後も多くの保護者の方に学校へ来ていただける機会を増やしていきたいと思っています。

■保護者へのアンケート

質問	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
18 学校からの情報や連絡は、配布物やホームページ、メールマガジン等を通して把握している。	43.2%	45.3%	9.5%	2.1%	88.4%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問18 → 4(3)イ

■【学校の受け止め方（分析）】

保護者生徒を含む中学生や一般の方へは HP と Twitter、保護者へはメールマガジン、生徒へは Classroom と状況に応じて連絡手段を使い分け、緊急情報は土日であっても発信しています。また、今年度からは、欠席等の連絡に Google フォームを導入し、朝の電話でお待たせすることがなくなりました。引き続きご活用いただきますようお願いいたします。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
19	学校は、家庭への連絡や保護者との意思疎通をきめ細かく行っている。（意見や要望を聞く機会がある）	20.4%	49.5%	20.4%	9.7%	69.9%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】

各種指導、学校内での怪我や成績など、生徒に何かあった際には保護者の方へ連絡をさせていただいていましたが、保護者の3割の方とは意思疎通がうまくいっていないというご回答をいただきました。今後はこれまで以上にご家庭と学校との連携を大切にしていかなければならないと痛感いたしましたので、全教員へ周知してまいります。また、ご相談がある場合は、担任、学年主任などを中心にお話を聞かせていただきますので、お気軽にご連絡してくださいませようお願いいたします。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
20	学校は近隣の地域施設や大学などとの連携を積極的に図っている。	15.7%	56.6%	21.7%	6.0%	72.3%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問20 → 2(2)イ

■【学校の受け止め方（分析）】

開かれた学校づくりをめざしている吹田高校の取り組みに対して、今年度も70%を超える保護者の方から肯定的な回答をいただきました。コロナ禍において、ここ2年は近隣の大学や中学校等の教育施設との交流が少なくなりましたが、徐々に再開しつつあります。吹田市立博物館との連携、専門学校との連携、大学との連携、中学校との連携、吹田市クリエイティブセンターとの連携など、今後もさらに地域、各種施設との連携を広げてまいります。

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
16	あなたは学校に行くことが楽しいですか。	1年	36.2%	45.2%	13.3%	5.3%	81.4%
		2年	37.9%	41.4%	11.4%	7.9%	79.3%
		3年	47.0%	28.7%	13.3%	10.5%	75.7%
全学年 肯定的回答率平均			78.8%				

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R04肯定的回答率
21	子どもは、学校が楽しいと言っている。	29.0%	44.1%	18.3%	8.6%	73.1%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】 該当なし

■【学校の受け止め方（分析）】

【学校の受け止め方（分析）】

肯定的な回答が多いことは大変うれしく思います。昨年度と比べ、数値としては上がってはいるのですが、学校の使命としては100%を目標に教育活動を進めていかなければいけません。今年度の2,3年生は入学時からコロナ禍の影響を多く受けてしまった学年です。なかなか満足な行事にならず、また友人とのやり取りも制限されてしまっていた状況に、学校としても歯がゆい気持ちでした。

全生徒、全保護者の方の思いを取り入れた学校運営ということはなかなか難しいのが実際ではありますが、だからと言ってあきらめることはいたしません。肯定的にとらえることができている生徒、保護者の方からのご意見を頂戴することができるよう、この学校教育自己診断の際などを機に学校へご意見をいただければと思います。また、学校には相談室（みかんルーム）を設置しておりますので、友達には話せないこと、悩みごとがあれば遠慮なく利用してください。

「授業が分かり学習することに充実感がある」「学校行事に積極的に取り組み達成感がある」「部活動に一生懸命に打ち込み、一体感や爽快感が感じられる」「友だちとの人間関係において温かみを感じ、友情を深めること」などを通して、「学校が楽しい」となっていってくれるよう、学校としても努力し、また生徒へもそういったメッセージを発信し続けていきます。